

小規模校のメリットとデメリット

| | メリット | デメリット |
|-----------------|--|---|
| 学習面 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。 ○ 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ○ 1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。 ○ 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 ○ 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 ○ 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態をとりにくい。 ○ 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。 |
| 生活面 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 ○ 異学年間の縦の交流が生まれやすい。 ○ 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 ○ 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 ○ 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。 ○ 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。 |
| 学校運営・財政面 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ○ 学校が一体となって活動しやすい。 ○ 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。 ○ 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 ○ 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 ○ 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。 ○ 子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者や地域社会との連携が図りやすい。 ○ 災害発生等による緊急避難時に混雑が生じにくい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ PTA活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。 |

出典：文部科学省 中央教育審議会の初等中等教育分科会の小・中学校の設置・運営の在り方に関する作業部会【H20.12.2】で配布された資料より

小規模校のメリットとデメリット

高萩市教育委員会実施「教職員対象小中学校の適正規模等に関する意識調査」より

小規模校のメリット（複数回答）

回答者数：小学校 79 人、中学校 56 人

| 項目 | 小学校 | | 中学校 | |
|------------------------------------|-----|----------|-----|----------|
| 1. 児童・生徒の人間関係が深まりやすい | 18 | (11.92) | 19 | (17.76) |
| 2. 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会が多くなりやすい | 36 | (23.84) | 18 | (16.82) |
| 3. 異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい | 27 | (17.88) | 13 | (12.15) |
| 4. 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい | 42 | (27.81) | 39 | (36.45) |
| 5. 授業で使用する教材や教具が一人一人に行き渡りやすい | 13 | (8.61) | 10 | (9.35) |
| 6. 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい | 14 | (9.27) | 6 | (5.61) |
| 7. メリットはない | 1 | (0.66) | 1 | (0.93) |
| 8. その他 | 0 | (0.00) | 1 | (0.93) |
| 計 | 151 | (100.00) | 107 | (100.00) |

その他：

- ・新しい試みなどへのフットワークが軽いのでやりやすい。（中学校・30代）

小規模校のデメリット（複数回答）

回答者数：小学校 79 人、中学校 56 人

| 項目 | 小学校 | | 中学校 | |
|---|-----|----------|-----|----------|
| 1. クラス替えが困難なことなどから、児童・生徒の人間関係や相互の評価などが固定化しやすい | 59 | (40.97) | 49 | (47.12) |
| 2. 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい | 36 | (25.00) | 29 | (27.88) |
| 3. 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に制約が生じやすい | 15 | (10.42) | 7 | (6.73) |
| 4. 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい | 8 | (5.56) | 6 | (5.77) |
| 5. 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい | 12 | (8.33) | 7 | (6.73) |
| 6. PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい | 10 | (6.94) | 4 | (3.85) |
| 7. デメリットはない | 2 | (1.39) | 0 | (0.00) |
| 8. その他 | 2 | (1.39) | 2 | (1.92) |
| 計 | 144 | (100.00) | 104 | (100.00) |

その他：

- ・校務分掌を兼任してもらわなければならないほど、教員の業務の負担が大きくなる。（小学校・50代）
- ・環境が変わらず友達関係など固定され問題が増える。（小学校・20代）
- ・小規模学校から高校進学した際、環境になじまず、不登校になり転学した生徒がいました。（中学校・30代）
- ・教員の数が限られるので、年休など取得するのが困難。（中学校・30代）